

日本共産党市会速報

NO.249

2024年7月5日
発行 日本共産党摂津市会議員団
〒0663833 11111
072(638)0007
内線 (3335)3336
メール info@settsu.jp-web.net

第2回定例会終わる、万博機運醸成予算に反対！

森山市長任期最後の定例会、最終日には退任のあいさつを受ける

6月13日から28日の会期で摂津市議会第2回定例会が行われました。

市長から提案のあった17件の議案と報告案件4件、他に8件の議会議案の審議を行いました。日本共産党議員団は、万博関連イベントが盛り込まれた一般会計補正予算及び、公明党提案の意見書2件（下水道ウオーターPPP）「子ども誰でも通園制度」の計3件に反対、その他の議案については賛成をしました。また、一般質問や討論を通じて、「物価高騰から市民の暮らしを守る市政を」「万博に予算まわすよりも能登半島の復興支援を」と訴えました。

（※本会議の様子は摂津市議会ホームページで録画映像の配信もおこなっていますのでご利用ください。また、6月議会の一般質問の中心については次号で紹介します。）

6月議会開会前に行われた記者会見で、9月の市長選挙不出馬の意向を表明していた森山市長が、本会議最終日には退任のあいさつを述べられました。

日本共産党議員団は、森山市政5期20年、唯一の野党として問題点の指摘や市民の暮らしを守る具体的提案を行うなど市長と正面から論戦を行ってきました。

また、9月の市長選挙に向けては市政の大きな転換点と捉え、「摂津明るい民主府・市政をつくる会」のみなさんとともに、政策議論などもすすめています。市民のいのちと暮らしを守り、市民に寄り添う新しい摂津市政を作っていくために引き続き頑張ります。



日本共産党議員団が提案した3件の意見書が全会一致で可決！

- ・ 介護保険に対する国庫負担割合の抜本的引き上げを求める意見書
- ・ 食料自給率の向上で日本の食と農業を守ることを求める意見書
- ・ 離婚後共同親権を導入する改定民法に関する意見書

他にも2件の意見書案を提案していましたが、6/25の議会運営委員会で協議の結果、残念ながら議会議案として上がりず。

「万博への子ども招待事業に関して、爆発事故の再発防止・原因の徹底究明と情報公開を求める意見書案（大阪府に対して）」・・・反対する会派はなかったものの提案者少数のため取り下げ。

「地方自治法の改正案に対する意見書案」・・・維新、自民の反対で取り下げ。

一般会計補正予算（第2号）に対する反対討論

この補正予算に反対する理由は、問題が山積する2025年大阪・関西万博の機運醸成のためのイベント開催予算が計上されていることです。

このイベントは、大阪府の2025年大阪・関西万博地域連携イベント開催支援事業補助金50万円と摂津市一般会計50万円を原資にしておこなうもので、舟運を活用した万博機運醸成イベントとして万博開催6ヶ月前の10月13日に淀川沿川各自治体での同時開催を呼びかけられたものです

摂津市は、鳥飼まちづくりランドデザインにおけるワークショップで出された意見と結びつけて鳥飼船着場において市民主体で実施していくとしています。

淀川舟運の活性化の取り組みや市民参加のワークショップの議論は尊重すべきものと考えますが、どちらも丁寧に継続して取り組むべきものです。たった1度限りの、しかも10月13日と地域行事の日程を無視して押し付けられるものであってはいけません。そもそも、大阪・関西万博は、事業費の相次ぐ膨張、軟弱地盤や脆弱な交通アクセス、海外パビリオン建設の遅れ、メタンガス爆発事故など大きな問題が山積しており、このまま突き進めば、更なる事業費の上振れや運営赤字のツケを将来に残しかねません。また、1月に発生した能登半島地震の被災地の復旧・復興は依然進んでおらず、万博は中止し被災地支援に予算と人を回すべきとの声も広がっています。

問題だらけの万博を無批判に盛り上げるイベントに税金を投入するべきではないと申し上げ反対討論とします。



別府 2-22-22
Tel.090-9254-7643

千里丘東 5-11-6-302
Tel.090-3976-5963

鳥飼野々 3-24-3
Tel.090-1919-3951

昭和園 8-11-108
Tel.090-7095-4929